

# 第23回大会

日時・昭和54年8月2日

コース・霞ヶ関カンツリー倶楽部

(男子東コース6,335m・パー72 女子西コース5,809m・パー74)

## ●男子の部●

① 小芝 亮一 (日 大 一)	37・36(73)	38・37(75)	148
※② 田中泰二郎 (浦 和)	38・37(75)	36・38(74)	149
③ 長田 敬市 (追手門学院)	37・38(75)	39・36(75)	150
※④ 加藤 邦彦 (明大 中野)	38・38(76)	38・38(76)	152
④ 山本 勉 (伊 東 商)	40・37(77)	38・37(75)	152
⑥ マイケル・カステロ (ハ ワ イ)	39・41(80)	36・37(73)	153
⑦ 坂本 義一 (呉 工)	38・40(78)	38・38(76)	154
⑧ 神谷 英夫 (愛 知)	38・40(78)	40・37(77)	155
⑧ 長久保忠義 (日 大)	42・40(82)	36・37(73)	155
⑧ 金田 秀龍 (P L 学 園)	39・38(77)	40・38(78)	155

## ●女子の部●

① 中田 朱美 (愛国学園高)	43	44	87
② 文平 京恵 (家政学園中)	42	45	87
② 奥村 久子 (市立旭中)	45	42	87
④ 加納さき子 (聖ドミニカ高)	43	47	90
④ 山本賀代子 (相 愛 高)	44	46	90
④ 伊藤 佳子 (慶応女子高)	43	47	90

ジュニアの技術も進み、とりわけ田中選手がパワーもあり優勝候補No.1だったが小芝選手が毎日のランニングの成果が出て1ストロークで田中選手を振り切り優勝した。女子の部は田中選手がプレーオフの末優勝。

※優勝は、プレイオフによる。

# 第24回大会

日時・昭和55年8月1日

コース・霞ヶ関カンツリー倶楽部

(男子東コース6,335m・パー72 女子西コース5,809m・パー74)

## ●男子の部●

① 池田 信行 (荒 尾)	38・36(74)	35・36(71)	145
※② 金田 秀龍 (P L 学 園)	38・35(73)	34・40(74)	147
③ 田中泰二郎 (埼 玉 栄)	35・41(76)	38・37(75)	151
④ 浅井 健次 (平 安)	37・38(75)	39・38(77)	152
④ 八木 生義 (中工大 附)	37・36(73)	40・39(79)	152
⑥ 工藤 久人 (千葉日大一)	37・39(76)	36・42(78)	154
⑥ 松井 康 (大院大 附)	34・37(71)	40・43(83)	154
⑥ 樋山 純 (埼 玉 栄)	38・39(77)	39・38(77)	154
⑨ 瀧川 順司 (松江 第一)	39・39(78)	36・41(77)	155
⑨ 西田 徹朗 (平 安)	39・40(79)	39・37(76)	155
⑨ 高橋 正博 (防 府 商)	42・38(80)	36・39(75)	155

## ●女子の部●

① 中田 朱美 (愛国学園高)	41	39	80
② 文平 京恵 (京都家政中)	39	44	83
③ 末松恵美子 (福岡女子高)	42	42	84
④ 福井 美保 (大久保中)	44	42	86
⑤ 谷 弘恵 (美しヶ丘中)	45	42	87

同じ年の7月に米国サンディエゴ市での世界ジュニアで初優勝した田中選手にギャラリーも大勢かけつけた。それがプレッシャーになったのか、スコアを乱し、代わって1m59cm、57kgと小柄の池田選手がすばらしいガッツで初優勝した。又、女子の部では田中選手が2連覇、強さを見せた。

# 第25回大会

日時・昭和56年8月13日

コース・霞ヶ関カンツリー倶楽部

(男子東コース6,335m・パー72 女子西コース5,809m・パー74)

## ●男子の部●

※① 青山 裕之 (結城 第一)	37・37(74)	37・35(72)	146
② 瀧川 順司 (松江 第一)	36・38(74)	38・37(75)	149
② 下井 昌史 (平 安)	36・38(74)	39・36(75)	149
④ 高橋 正博 (防 府 商)	40・37(77)	37・36(73)	150
⑤ 米山 剛 (相 洋)	40・39(79)	36・36(72)	151
⑤ 福井 慎治 (平 安)	37・38(75)	37・39(76)	151
※⑦ 芹沢 大介 (日 大)	37・38(75)	36・41(77)	152
⑦ ケル・ミヤオカ (ハ ワ イ)	38・37(75)	39・38(77)	152
⑨ 工藤 久人 (千葉日大一)	40・38(78)	35・40(75)	153
⑩ 並木 秀 (千葉敬愛)	37・37(74)	38・42(80)	154

## ●女子の部●

① 文平 京恵 (家政学園高)	36・38(74)	39	113
② 福井 美保 (堀 越 高)	39・36(75)	40	115
③ 谷 弘恵 (日大桜丘高)	36・38(74)	43	117
④ 中田 朱美 (愛国学園高)	40・40(80)	38	118
⑤ 喜多 麻子 (日 野 中)	43・38(81)	43	124
⑤ 橋本 愛子 (鳴 門 中)	39・46(85)	39	124

本命無き激戦の予想通り、上位グループの最後の9ホールに勝負が持ち込まれたが、スタミナ十分の青山裕之選手が1アンダーで回り、初優勝。又、女子の部では、田中選手の三連覇成らず。

※ 印は世界ジュニア日本代表選手